

奄美大島からの辺野古土砂調達、 「南西諸島」から全国に広がる自衛隊配備を問う

国による代執行が強行される辺野古。地盤改良船が金武湾に到着し、安和栈橋での死傷事故の検証もなく、今度は塩川地区で土砂搬出が再開された。新たに始まった宮城島からの土砂搬出では、中城湾港の使用許可を県に申請せず、沖縄総合事務局使用部分の目的外使用を強行している。また、南部地区からの土砂搬出の目処が立たないなかで、奄美大島からの土砂搬入に向けて事前調査が開始された。その奄美大島から始まった「南西諸島」への集中的自衛隊配備とミサイル基地化は、いま西日本へ、全国へと広がろうとしている。



阿部悦子さん

「辺野古土砂全協」共同代表
(9月・11月に奄美現地調査)

奄美大島での土砂採掘の現状、
生活破壊・自然破壊の現場をレ
ポートしていただきます。

染 裕之さん

「フォーラム平和・人権・環境」
共同代表 (奄美大島出身)

「南西諸島」への自衛隊配備は、
いま全国的な軍事化へと広がる。
現状と私たちの課題を伺います。



1月19日(日) 18:00~20:30 連合会館 201会議室

【参加費】 700円

(JR「御茶ノ水」地下鉄「新御茶ノ水」「小川町」「淡路町」)

〔共催〕 「止めよう!辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

090-3910-4140(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック) 03-6382-6537(沖縄意見広告運動) 03-3363-7561(ピースボート)

「辺野古土砂搬出反対」全国連絡協議会 080-1054-0409(首都圏グループ)

奄美大島からの辺野古土砂調達反対署名を成功させよう!